

郡山市PPP/PFI手法導入優先的検討基準に基づく結果報告書

検討段階

PPP/PFI詳細導入可能性調査

事業実施課

保健福祉部障がい福祉課

施設名称

郡山市更生園

公共施設総合管理計画に基づく検討開始年度

2020年度

所在地

郡山市希望ヶ丘22-16

定量評価結果概要（担当：障がい福祉課）詳細な導入可能性調査結果より

【VFM算定結果】

- 事業方式はPPP手法（DB+0方式）とする。
- 事業形態は障害福祉サービスと子育て支援サービスを行うこととし、設計・建設期間は2年、維持管理運営期間は15年とする。
- VFM算定の結果、PFI手法では財政縮減効果が得られず、PPP手法で財政縮減効果が得られた。

定性評価結果概要（担当：障がい福祉課）

- PPP手法（DB+0方式）で民間事業者のノウハウの発揮によるサービスの向上が期待できる。
- 事業者の視点ではサウンディング調査に参加した企業の本事業への関心は高かったため、一定の競争性が担保できると考えられるが、運営事業者の参加が少なかったため、運営事業者の参画が課題となる。
- 公共の視点では、PPP手法（DB+0方式）でも「財務モニタリング」の契約を行う場合に限り、事業の安定性を確保できる。また、PPP手法（DB+0方式）の場合でもPFI法に準じて行うことにより、事業者選定手続きの透明性が確保でき、適切と考えられる。

総合的な評価結果（担当：障がい福祉課）

- 財政縮減効果、サービス向上、競争性の確保、安定性選定手続きの透明性の観点から本事業において、現時点ではPFI法に準じて行うPPP手法（DB+0方式）に優位性があると確認できる。
- 次のステップに移行し、事業手法を決定し、最適な手法により整備を行う必要がある。

次の検討段階

PPP/PFIの実施に向けて「アドバイザー業務」を実施する。

備考

令和4年5月23日～令和5年3月31日の「郡山市更生園民間活力(PPP/PFI)導入可能性調査結果」による。詳細は、別紙参照